

# 第24組 広報

発行日  
2017年 7月1日  
第178号  
発行責任者  
組長 美濃部俊裕



## 活動の活性化を願って

組長 美濃部 俊裕

6月11日(日)、木之本スティックホールで、「同朋のつどい」を開催しました。参加者は、児童40名、一般参加者60名を含め400名を超えました。参加していただいた皆さんにお礼申し上げます。

昨年9月以来、組教化委員会、プロジェクト24を中心に企画準備を進め、開催にこぎ着けました。80名の実行委員さんに心からお礼申し上げます。大会に携わっていただいた皆さんが、今後も核となっただけ、各寺と組の活動が一層活性化されることを願ってやみません。

大会では、本山企画調整局大江次長からご挨拶がありました。本山が来年度から展開される「元気なお寺づくり講座」を24組が先駆けて受講したからです。講座で学んだことは、お寺が大切にしてきたことを見直し、継承すべきことや課題を住職と門徒が共有し、これからの寺のあり方を創していくことが大切であるということでした。このことは今回の「同朋のつどい」開催にも大きなヒントになりました。

受講した寺では、早速、学んだことを生かした取り組みが始まっています。浄教寺では、各組正副組長さん、婦人会代表の方に、講座を通じて新たに作成された事業計画の説明が行われました。計画の実現に向けて新たなグループが立ち上がり、メンバーには壮年層の方もおられるそうです。随時青壮年への拡大、斬新な内容の追加を模索されています。他の寺でも、若い世代の意見を取り入れ、同朋会の参加者を広げる新たな取り組みが始まっています。このような取り組みが組内に広がり、お寺が元気になっていくとすばらしいと思います。



事業計画説明会 於：浄教寺

### 【長浜別院 夏中日程】

日時 7月2日(午後より)～7月10日  
★「夏のお文」拝読・法話 10:00～14:45 (7/2 は午後～)  
★暁天講座 5:40～ 6:30 (7/3～7/10)

### 【五村別院 夏中日程】

日時 8月5日(午後より)～8月10日  
★「夏のお文」拝読・法話 10:00～15:00 (8/5 は午後～)  
★暁天講座 5:40～ 6:30 (8/6～7/10)

# 盛大に「同朋のつどい」を開催

## 共につながりあって生きる世界を求めて400人がつどう



去る6月11日（日）に「同朋のつどい」が盛大に開催されました。好天に恵まれ組内寺院はもちろんのこと、組外からも大勢の方が参集され、参加者は400人を超えました。毎年組の同朋大会は組内の大会は組内のお寺を会場に開催されていましたが、今年は木之本スティックホールで午前・午後の集いとなりました。大会の企画については、「プロジェクト24」を中心とした若い世代の皆さんがスタッフとなりいろいろアイデアを出し合い、地域に開かれた楽しい大会になるよう準備され、当日は80名に及ぶスタッフによって支えられました。

午前10時から山岡和弘氏（プロジェクト24）の司会の下で開会行事が進行されました。第1部では、先ず各寺

から参加された40名の土曜・日曜学校の子どもたちがステージに登場し、真宗宗歌斉唱の後「正信偈」のお勤めが始まりました。導師やキン役などは子どもたちが担当しました。お勤めには、本山からゆるキャラの「鸞恩くん」「赤本くん」「蓮ちゃん」なども参加しました。



お勤めの後、美濃部俊裕組長のあいさつがあり、「この大会が昨年本山主催の『元気なお寺づくり講座』を受講して学んだことがヒントになっている」ことをご紹介され、「お寺



や組の活動の活性化に結びつき、親鸞聖人の教えにふれていただくきっかけになることを願っている。」と述べられました。

10時30分からの講演は、川村妙慶氏（真宗大谷派僧侶・アナウンサー）が「つながりあって生きる幸せ」を演題にお話しされました。まず最初に、「みなさん、一つお願いがあります。それは、『答えを持って聞かない』で欲しいのです。」と呼びかけられ、共に手を携えて生きる世界を分かりやすくご教示



くださいました。嬉しい時も南無阿弥陀仏、辛い時も南無阿弥陀仏。これからもお念仏相續を忘れずに生きていきたいと思います。力強いお話しに、参加者はメモをとりながらうなずいておられました。

講演終了後、安居重晴組門徒会長より謝辞が述べられました。子どもたちは講演中伝承館に移動して、アニメのビデオを鑑賞しました。



11時40分頃から食事タイムとなり、公民館ホールなどで、「Coco巻のカレー」や「つるやのパン」をいただきました。

12時30分からは第2部が開幕となり、この日のために結成された組混声合唱団「山河（さんが）サンガ」の演奏が始まりました。総勢55名が谷寿子氏の指揮の下で、「なんまんだぶつの子守歌」「回向」「朝」「いのち まいにち あたらしい」の仏教讃歌を歌いました。つづいて地域で活発に活動されている「ラララ」の皆さんの演奏があり、最後に全員で「琵琶湖周航の歌」を歌い、その後神田廣章氏（プロジェクト24部長）からのあいさつがありました。



第3部は、活動コーナーとして、ホールのロビーでは缶バッチや念珠作り、さらに伝承館では、昔の遊びとして、コマ回し、メンコ、けん玉、ダルマ落とし、あやとり、お手玉などをして楽しみました。2時30分頃からホールで閉会セレモニーがあり、お目当ての抽選会が行われ、ゆるキャラも参加し大変盛り上がりしました。

半年以上前から実行委員会が立ち上げられ、40才代を中心とした「プロジェクト24」のメンバーが核となって綿密な計画が立てられました。そして、熱心なスタッフのご尽力によって大きなトラブルもなく無事に終えることができたことは、ただただ感謝の一言であります。今回のテーマである「つながりあって生きる幸せ」をスタッフ全員が感じながら取り組んで下されたことが何よりも意義のあることであつたと思っています。



後片付け等すべての作業が終わり、最後に安居門徒会長より80名のスタッフの皆さん、更に事前の準備からご協力いただいたホールの関係者の方などに謝辞が述べられました。

今年度組の最大行事が、今後の組や寺の在るべき姿を示し、楽しかった思い出と共に閉会となりました。有意義な大会でした。（取材：秦広報委員）



# 各寺の法座の案内

※報告寺院のみ掲載

寺院	法座名	期日	法話者
浄教寺（東阿閉）	墓参会	8月12日（土）11時	澤面 宣了氏
恩覚寺（西阿閉）	相続講	7月16日（日）9時30分～11時30分	覚念寺住職
	墓参り	8月11日（金）14時	住職
覚念寺（松尾）	追弔会	7月30日（日）10時	美濃部 俊裕氏
	お墓参り	8月13日（日）14時	住職
教覚寺（重則）	お盆会	8月13日（日）10時	住職
圓行寺（西柳野）	墓参り	8月13日（日）10時	住職
妙覚寺（東柳野）	墓参り	8月12日（土）12時・16時	古松 了祐氏
梅龍寺（磯野）	墓参り	8月13日（日）8時	住職
本宗寺（磯野）	墓参り	8月13日（日）	秦 信映氏
双林寺（西物部）	永代経	7月8日（土）10時	住職
	墓参り	8月12日（土）11時	住職
猶存寺（布施）	墓参り	8月13日（日）9時30分	佐藤 義成氏
長照寺（唐川）	墓参法要	8月10日（木）10時	高岡 淳氏
		8月11日（金）6時・10時	住職・副住職
圓常寺（千田）	永代経	8月27日（日）10時・13時	勅使 英照氏
来入寺（千田）	墓参り	8月13日（日）10時	住職
明楽寺（木之本）	文月講演会	7月9日（日）13時30分	國森康弘氏(写真家)
明德寺（黒田）	墓参り	8月12日（土）5時30分	住職
樹徳寺（田居）	墓参り	8月11日（金）10時	楳山 正樹氏
誓海寺（大音）	墓参法要	8月13日（日）10時	秦 信映氏
明源寺（今市）	墓参法要	8月12日（土）11時	
景好寺（柳ヶ瀬）	墓参り	8月14日（月）10時	秦 信映氏

## 小さな『日曜学校』誕生!!

高月町布施は20数戸の小さな村で、村には猶存寺が一ヶ寺ありますが、全戸数の三分の二が西野の充満寺様のご門徒です。長らく途絶えていた「日曜学校」を何とか再開してもらえないかとの地域の方々の思いが叶い、本年4月より両寺のご住職様・役員様のご理解を得て、日曜学校が開催されることになり、小学生全員7名が対象ですが、保護者・高齢者の方々も参加され盛り上がった開校となりました。



初回の4月23日は、両寺のご住職様と猶存寺総代様よりお話があり、「子どもたちが大きくなった時に、お寺（仏さま）とのつながりを感じてもらえるよう、息長く続けていきたいので、子どもたちはもとより、大人の方々も是非とも参加してほしい」と述べられました。小さな「日曜学校」の誕生に陰ながら拍手をし、いつまでも楽しく活発な活動ができることを期待します。

（取材 広報部；水上 喜久男）